

# 北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：令和元年7月10日（水）  
15：45～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

# 目 次

1. 議事次第	1
2. 令和元年度役員名簿(案)	2
3. 平成30年度事業実施報告書	3
・ 学生に対する支援	
(1) 語学研修プログラム参加旅費の助成	
台湾	4
ドイツ	8
(2) 競技用トランポリン購入の助成	15
(3) 地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成	17
(4) 留学生派遣の助成	18
(5) インターナショナルCアワー開催の助成	20
(6) 留学生交流イベントの助成	21
(7) 就職支援助成(地元企業合同セミナー)	23
(8) 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成	25
・ 大学広報等への支援	
(1) 女満別空港広告看板掲出料の助成	27
・ 北見ぼんちまつり参加者への助成	28
4. 平成30年度決算書	29
5. 監査報告書	30
6. 令和元年度事業計画書(案)	31
7. 令和元年度予算書(案)	32
8. 規約	33
9. 法人会員名簿	35

# 議 事 次 第

## 1. 開会

## 2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

## 3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成30年度事業報告、決算報告について

(3) 令和元年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

## 4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
令和元年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）  
" 鈴木 聡一郎（北見工業大学学長）
- 会長 永 田 正 記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 福 地 博 行（北見鉄工協同組合理事長）  
" 坂 口 政 義（北見商工会議所中小企業委員会委員長）  
" 西 川 孝 範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）  
" 今 野 敦（北見医師会会長）  
" 越 膳 良 臣（北見工業大学同窓会顧問）
- 常務理事 柴 野 純 一（北見工業大学理事・副学長）
- 理事 高 木 常 臣（北見歯科医師団団長）  
" 菅 原 吉 隆（北見ぼらんち会会長）  
" 田 村 友 朗（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）  
" 金 田 充 郎（北見信用金庫理事長）  
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）  
" 小 松 正 道（協同組合北見総合卸センター理事長）  
" 佐々木 敏 行（北見舗装協会会長）  
" 新 井 俊 俊（北見薬剤師会会長）  
" 辻 好 治（北見観光協会会長）  
" 富 山 佳 男（北見測量設計協会会長）  
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）  
" 久 島 和 俊（北見建設業協会会長）  
" 石 輪 信 幸（北見金融協会会長）  
" 舩 川 誠（北見工業団地会会長）  
" 増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）  
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）  
" 山 田 義 久（協同組合日専連北見代表理事）  
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
- 監 事 小 澤 實之郎（日本赤十字社北見市有功会会長）  
" 富 田 剛 夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
平成30年度事業実施報告書

事 業	摘 要
1 会 議	
1) 総 会	平成30年7月3日(火)開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	<p>語学研修プログラム参加旅費の助成 ・台湾×4人      ・ドイツ×7人</p> <p>競技用トランポリン購入の助成</p> <p>地域貢献活動、ボランティア活動等を行った 学生表彰の助成 ・受賞者3名(令和元年度予算から助成)</p> <p>留学生派遣の助成 ・計7回派遣</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成 ・計7回開催</p> <p>留学生交流イベントの助成 ・平成30年12月12日(水)開催</p> <p>就職支援助成(地元企業合同セミナー) ・オホーツク地元企業と就職担当教員との 意見交換会 …平成31年1月17日(木)開催</p> <p>・オホーツク合同企業セミナー …平成31年2月21日(木)開催</p> <p>図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 ・計28冊購入</p>
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	北見ぼんちまつり参加者への助成 ・平成30年7月13日(金)開催

(別紙参照)

平成30年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

2 事業概要

研修先	中国医薬大学北港キャンパス
研修期間	平成31年2月21日～3月15日
助成対象・金額	3万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地球環境工学科 1年
氏名	大坂 桃太
報告	<p>今回の研修は留学とはどのようなものなのか学ぶために参加しました。3週間の間にホームステイをはじめとした色々な日本ではできない活動を行わせていただきました。ホームステイでは言葉がうまく通じない中、4日間台北のお宅にお邪魔して上手くコミュニケーションをとるように努力し、ホストファミリーの皆さんに台北の観光ガイドをしていただきました。その中で台湾の生活がどのようなものか学びつつ、めずらしいものを楽しむことができたので非常に充実したホームステイになりました。ほぼ毎日受講していた中国語の講義は先生が日本語と英語をほとんど使わずに日常生活で必ず使う基礎的な中国語を教えてくれたので吸収のよい語学の講義だったと感じました。ひとりで町を歩き、店で物を頼めるようになったので語学的な面での成長もかなりあったと実感しています。終わってみると充実していた分かなり短い期間に感じました。研修で培ったことを今後の活動に役立てていきたいです。</p>
謝辞	<p>今回の研修は台湾以外のほかの研修に比べ安価なうえ補助金をいただけるということで経済的負担も少ないことから、参加に踏み切ることができました。海外で生活して得られたものは多く、貴重な体験でした。このような体験をするきっかけを与えていただき、ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 1年
氏名	中島 拓都
報告	<p>今回の台湾研修において言語や文化などの知識を含めさまざまなことを学びました。中でももっとも大きな成果は、実際に海外に行き現地で現地人と触れ合うという機会をもてたことです。私のように興味はあっても行動になかなか起こせないような学生にとっては非常に大きなチャンスであったと思います。知識として学んだこととしては、計九回の中国語のクラスや、課外授業として訪れたお寺などが印象的でした。また、ホームステイ先でも台湾の学生やその御家族の方々にさまざまな観光地に連れて行っていただきました。日本や中国、はたまた西洋など多くの文化が交わった台湾だからこその見所がとても多くどれも非常に興味深いものばかりでした。また、知識以外にも台湾の方々の心の温かさに触れることが多かったと私は思います。外国人の私に興味を持ちさまざまな方が声をかけてくれましたが、どの方も親切な方ばかりでした。</p> <p>最後に、今回の機会を設けてくれた日本、台湾の両大学およびその関係者の方々、そして新しくできた台湾の友人たちに改めて感謝を申し上げます。</p>
謝辞	<p>今回の短期研修においてお力添えをいただけたことを深く感謝いたします。個人の方ではまかないきれない金銭面を助成していただけたことは私が今回の研修への参加を決定する上で大きな要因の一つとなっています。来年度の学生にも台湾が寄り近くなるように今後とも御助成いただければと思います。この度は本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏 名	中村 薫
報 告	<p>今回の台湾研修を通じて、私は台湾の良さと日本の良さを学びました。まず、台湾の良さは人が温かいということです。現地の先生や学生は、初めての海外なうえに中国語もほとんど話せないわたしを不安にさせないように、わかりやすい英語やジェスチャー、さらに日本語を交えてガイドしてくれました。さらに、必ず歩道側を歩かせてくれたり、なるべく好きなものを食べられるようにレストランのメニューの写真を探して説明してくれたりする親切さや、研修先のガイドブックを手書きで作ってくれるサプライズ精神の旺盛さに感銘を受けました。</p> <p>一方、日本人はとても計画性があることに気づかされました。台湾研修中、急な予定変更が多々ありましたが、それに対応できる力を台湾に来て得られたと思います。また、台湾の学生に日本製のものは、使い手の身になって作られているから好きだといわれ、改めて日本の工業を誇りに感じました。</p> <p>日本に帰ったら、台湾で得た人に親切にする心を大切に生活したいと思います。また、海外で評価を得ている日本の技術を伝承する一人間になるべく、勉学に努めたいとおもいます。</p>
謝 辞	<p>海外に長期的に滞在することは、多くのことが学べてとても貴重な機会となりますが、その分、お金もかかってしまいます。助成のおかげで海外に行く機会をいただくことができました。このことを心より感謝しております。ありがとうございました。</p>



所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏 名	白幡 みづほ
報 告	<p>三週間の台湾での研修はとても有意義なものでした。私にとって二度目の海外なので、最初は言語や生活の違いになじむ事ができるか不安でした。台湾の学生さんはそんな私に優しく話しかけ、食事や買い物に誘ってくださって毎日楽しく過ごすことができました。</p> <p>会話をするときにはいつも日本語、英語、中国語の三ヶ国語を使い、それでも伝わらないときは身振り手振りを交えていました。日本にいる時には日常会話で日本語しか使わないため、三ヶ国語を交えての会話は私にとって新鮮でとても面白かったです。研修中に行われた中国語の授業で覚えた言葉を試したり、実際に見聞きして、教科書では覚え切れなかったことが身につきました。</p> <p>特に、4日間の台北でのホームステイは多くのことを学ぶ良い機会でした。中正紀念堂や西門に行き、友達に解説してもらいながら台湾の歴史を学びました。ホームステイ先の家族は日本のことが好きで、台湾のことを教えていただく代わりに私は日本のことを話しました。</p> <p>私は本研修を通して台湾はもちろん、日本のことも好きになりました。今後日本と台湾が交友を深められるように、尽力します。</p>
謝 辞	<p>皆様のおかげで貴重な経験をすることができました。台湾についてたくさん学ぶことができ、またさらに海外へ興味がわきました。本研修で身についたことを今後生かしていきます。助成していただき、ありがとうございました。</p>

平成30年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

研修先	アシャッフエンブルク応用科学大学
研修期間	2018年8月11日～9月1日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	近藤 大
報告	<p>今回の語学研修では、ドイツ語を学ぶのとともに今まで持っていた外国に対する偏見もなくなりました。ドイツでの授業は少しわかりづらいこともありましたが、学んだことや覚えたことをすぐに活用する事ができ、大変良い体験となりました。</p> <p>またフランクフルトでは1人でシュテーター美術館や現代美術館などを見学し宿泊施設のあるアシャッフエンブルクまで電車で帰りました。失敗もしましたが結果として無事に帰ることができました。言葉が通じず不安になったこともありましたが、ドイツでは普通に歩いていてもドイツ人から声をかけられることがあり、言葉が通じれば楽しくはなせるのになと何度も思いました。今回の経験をかてに外国語の取り組み姿勢を変え、これまで以上に精進したいと思います。</p>
謝辞	<p>この度は貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。今回の体験を無駄にしないようこれからも外国語に取り組んでいきたいです。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	橋 奎伍
報告	<p>今回のドイツ語学研修は、異文化を知れたというだけでなく、自分自身を見つめなおす良い機会になったと思います。</p> <p>元々ヨーロッパへ行きたいと思っており、この研修への参加を踏み切った訳ですが、希望が叶って嬉しいと思う反面、出発前は、数ヶ月前まで簡単な挨拶さえも知らなかった自分が行っても大丈夫なのか。と少し不安でもありました。</p> <p>いざドイツ語で話しかけられると、ほとんど意味がわからず戸惑ってしまったり、相手に意思を伝えたくても、うまく伝わらず困ることも多々ありました。ただ、このような状況だからこそ、「もっと理解したい。もっと伝えたい。」と強く感じるようになっていました。普段は飽き性な自分がこんなに貪欲になっていることに驚くとともに、触れるもの全てが新鮮で、日本にいただけでは味わえない、毎回予想を超えてくるドイツ文化が非常に面白くなっていました。</p> <p>これからは、この貪欲さを忘れずに、様々なことに挑戦していきたいです。まずは、この研修で重要だと感じた英語の勉強を頑張ります。</p>
謝辞	<p>今回はこのような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございます。この研修を通して、自分の未熟さに気づくとともに、新たな目標もできました。これからは目標に向かって頑張ります。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン科・1年
氏名	田中 利樹
報告	<p>この研修プログラムで私は、ドイツ語だけでなくドイツの文化も学びました。ドイツと日本との違いを知り私自身も大きく成長できました。</p> <p>ドイツでは、私の語学力の低さが原因で現地の大学の先生、レストランの店員、現地の人々に対してコミュニケーションをとることの難しさを、痛感しました。それと同時に自分の意図や、相手の意図が伝わったときの喜びも感じる事ができました。この経験が他言語学習においてモチベーションになると思います。</p> <p>ドイツでは日本のように24時間経営の店はなく、ほとんどの店は日曜日にも営業していません。レストランのウェイターは料理を勢いよく置いたりします。それでポテトがこぼれたこともありました。また、チップで代金を少し多めに払いました。このように日本では当たり前なことがドイツでは当たり前ではありませんでした。当然、事前に知っていることもありましたが、体験したことで心に余裕ができたと思います。当たり前を当たり前と思わない大切さを知れました。</p>
謝辞	<p>このような素晴らしい経験をさせていただき誠にありがとうございます。この経験がこれからの人生で大きな助けとなると思います。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	丹羽 優介
報告	<p>今回の語学研修を経て多くのことを学びました。</p> <p>まずドイツ語を学ぶことで、現地の方と軽いコミュニケーションを取れるようになりましたし、日本と違ったドイツの文化を感じカルチャーショックを受けることもありました。</p> <p>例えばチップの文化。決して義務ではありませんがレストランでの食後などに感謝の気持ちとして金額の1割をわたします。すると、ウェイターはとても嬉しそうな顔で「Danke」と喜ぶのです。こうした小さなコミュニケーションの一環が人と人をつなぐ大切な歯車となっていると実感しました。</p> <p>日本はとても良い文化を持っていますが、ドイツにも日本にない良い文化があります。そうしたことを実感することが、この三週間の研修の意味であったと思います。</p> <p>日本に帰国した今、今回の語学研修で得たものをこれからの生活に生かしていきます。</p>
謝辞	<p>この度はこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。</p> <p>今回の研修を自分の生活に生かすのはもちろん、周りの人にも良い影響を与えられればと思います。こうした経験をさせていただけたこと重ねてお礼申し上げます。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・2年
氏名	家村 達也
報告	<p>今回の語学研修で私は多くのことを学びました。私は今回の語学研修が初めての海外でした。海外での生活は様々な新しい経験をすることができました。そして日本との文化の違いを多く感じました。人々の考え方はもちろん日常生活の習慣の違いも感じるすることができました。私が感じた違いの中には日本でも取り入れるべきだと思ったこともありました。ドイツでの日常生活は最初不安もありましたが生活していくにつれ慣れていきとても楽しいものになりました。引率の先生の親戚の家に訪問する機会があり、ドイツ人の家庭料理や日常に触れることもできました。</p> <p>休みの日には泊まった町にある教会やノイシュバンシュタイン城、ケルン大聖堂などに訪問しドイツ人が築いてきた歴史を知ることができました。現地で困っていたときは、ドイツの方が話しかけてきてくれてドイツ語が分からない私に英語で優しく教えてくれたこともありました。このことをきっかけに私は日本で同じようなことがあれば率先して助けてあげようと思いました。</p> <p>今後東京オリンピックが控えている中、外国人観光客が増えていくと思います。その時に備えて英語を勉強していきたいです。</p>
謝辞	<p>今回の語学研修はとても充実したものになりましたこの助成のおかげでとても楽しめることができました。今後異文化にも目を向け多くのことを理解していきたいと思っています。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・2年
氏名	石川 貴大
報告	<p>今回のドイツ語学研修は自分にとって初めての海外という事で、不安と期待で胸がいっぱいでした。しかしドイツに着くと日本と全く違った街並みなどに圧倒され、胸にあった不安など忘れて感動と楽しさでいっぱいになりました。やはり一番記憶に残っているのは毎日通学するために歩いたドイツの街並みです。歴史を感じさせる建物、歴史的な建物がたくさんあり且つ入ったり触ったりすることができるため直にドイツの歴史に触れられ忘れられない経験になりました。ドイツへ行きもっとも感じたことは自分の英語力のなさと、英語の重要性です。</p> <p>ドイツの学生などと触れ合う機会がありましたが当然そこでの会話は英語でした。軽いあいさつ程度は可能でしたが、いざ会話をしようと思うとなかなか話ができませんでした。</p> <p>この語学研修で様々な発見がありましたが、やはり一番は英語の重要性です。なので日本へ帰っても英語の勉強をしていこうと思います。</p>
謝辞	<p>今回のドイツでこのような素晴らしい体験ができたのは、この助成があったからだと思います。この素晴らしい経験を今後の人生に活かして行きたいと思います。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	マテリアル工学科・3年
氏名	宇賀神 舞
報 告	<p>今回のドイツ語学研修プログラムでは、現地でドイツ語を学びながら3週間生活し観光地をいくつか回りました。</p> <p>月曜から木曜までドイツ語の授業を受け、授業のない日に観光地に出かける日々は、毎日何かしらの発見がありとても充実したものでした。研修期間中はサマータイム時であり、20:30過ぎまで夕方のように明るく慣れない夜を過ごしたのがとても印象的でした。また街を歩くとすれ違う人の言葉に驚かされました。日本では皆が日本語を話します。その感覚で、ドイツでもドイツ語と英語が話されているのだとばかり思っていました。しかし実際は、それだけではなく色々な言語が使われていました。ドイツ語が話せるわけではないので、何語で話しているかは分かりませんでした。言語が違うことはなんとなくではありますが分かりました。日本には感じれない世界の広さだと思います。</p> <p>研修中ドイツ語を学ぶ時間があったとはいえ、3週間で理解するのは難しかったです。私は簡単な自己紹介と挨拶が少しできるようになった程度でした。それでも自分たちだけで買い物ができたり、電車に乗ることができ満足感がありました。</p> <p>研修を終えましたが、私はドイツ語の勉強を継続しています。ヨーロッパの美術館を巡り、ドイツ語で教養を養いたいと思ったからです。このように思えたのもきっかけは今回の研修があったからこそだと思います。</p>
謝 辞	<p>私はこの夏、ドイツ語学研修プログラムに参加しました。3週間という期間は長いようで短く、毎日新しい発見がありとても充実した時間を過ごせました。今回の研修を経てドイツ語習得をより一層励んでいきたいと思いました。ご支援いただいた感謝の気持ちを忘れず精進します。ありがとうございました。</p>



1 実施事業名

競技用トランポリン購入の助成

2 事業の概要

大学で保有しているトランポリンの老朽化が進んでいることと、全日本学生トランポリン競技選手権(インカレ)が令和元年8月に北見で開催することとなり、競技基準を満たしたトランポリンを購入し、学生の練習環境を整備する。

3 競技用トランポリンを用いた活動の様子

○トランポリン部の活動(平成31年2月6日(水)本学第二体育館)

平成30年11月に納品された競技用トランポリンを使用して、男女あわせて40名以上の部員で練習しています。

練習は概ね週3~4回2時間半行い、初心者から経験者まで個人の能力に応じた練習を行い、日々レベルアップに努めています。

平成30年8月に開催された全日本学生トランポリン競技選手権(インカレ)に出場し、個人では男子シンクロナイズド競技のBクラスで4位、団体戦では、男子Bクラスが3位、Cクラスでは2位の結果となりました。

今回の助成による新しいトランポリンがインカレ後に納品になり、今まで以上に練習環境が充実しました。今回のインカレで見つかったそれぞれの課題に向き合い、さらなるレベルアップに向け部員一同が練習に望むなど部員の士気も高まっています。



#### 4 謝辞

競技用トランポリン購入に助成いただき誠にありがとうございました。

皆さまの支援により、競技基準を満たしたトランポリンを購入することができ、来年度北見で開催する全日本学生トランポリン競技選手権（インカレ）に向け、学生へのよりよい練習環境を整備することができました。

また、次年度のインカレで参加学生が良い成績を収めること期待するとともに、事故の無い大会運営に努めていきます。

今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 平成30年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

### 1 実施事業名

地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成

### 2 事業の概要

地域貢献活動等に積極的に参加した本学に在学する学生及び本学学生が組織する団体を表彰することで、学生生活の充実と地域の一層の活性化を図ることを目的とする。

### 3 謝辞

学生表彰へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度は、平成30年5月から北海道警察学生ボランティア活動に参加し、北海道警察職員と連携し、少年の非行防止や犯罪等の未然防止など幅広い活動を複数回行った学生3人をKITげんき会総会で表彰いたします。

受賞者は以下のとおりです。

社会環境工学科	4年	庄山 弘祐
社会環境工学科	4年	木村 宏海
社会環境工学科	4年	佐々木 美佳

1 実施事業名

留学生派遣の助成

2 事業の概要

本学と地域との国際交流の推進を図るため、外国人留学生を地域の各種団体等へ派遣し、派遣先で行われている行事に参加させる。

3 参加者の様子

特別聴講学生向け講義「日本事情」「初級日本語」において、北見市美山小学校、北見市立小泉小学校及び北見北斗高校に外国人留学生を派遣し、学校間国際交流を行いました。

交流実績として、美山小学校と1回、小泉小学校と4回、北見北斗高校と2回、計7回行いました。

美山小学校との交流は、11月6日（火）に行いました。小泉小学校との交流は、11月12日（月）、12月10日（月）に行いました。留学生を2～4名ずつの班編を行い、給食体験や昼休みに小学生と会話しながら交流を行いました。また、各留学生から10～25分ずつの持ち時間で自国文化の紹介を行いました。小学生が理解できるように言葉遣いや発音に留意しながら発表を行い、熱心に聞く小学生を見て、留学生たちは大きな喜びと達成感を得ることができました。

また、7月20日（金）と8月24日（金）には小泉小学校の英語クラブとの交流会も行いました。自国のゲームや、調理実習を通じて、文化の交流を行いました。



北見北斗高校との交流は、7月18日(水)と12月4日(水)に行いました。7月18日には、留学生5人とサイエンスクラブの高校生14人と交流会を行い、留学生による「日本の高校と高校生のイメージ」、自国での高校生活、日本の高校との違い等についての発表をしました。サイエンスクラブの高校生からは、手掛けている研究の内容について発表を行い、意見交換をしました。

また、弓道部と剣道部の部活動の体験もさせていただき、留学生にとって日本の高校を経験できる貴重な場となりました。

12月4日(水)には留学生6人が高校生15人に留学体験談を発表する場を設けていただきました。



#### 4 謝辞

留学生派遣の実施にあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご支援により留学生に日本の給食体験や高校生活の体験など、貴重な経験をさせていただくことができました。また、数回に渡って学校関係者と交流ができたことで、留学生は小中高生や職員の皆様と顔見知りになり、お互いに理解し合おうとする雰囲気生まれ、素晴らしい国際交流の場をつくる事ができました。賛助いただいたKITげんき会の皆様に、国際交流センター一同、心より感謝を申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 平成30年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

### 1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

### 2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

### 3 開催報告

2018年 4月24日開催 留学生歓迎会  
2018年 5月29日開催 折り紙  
2018年 7月25日開催 流しそうめん  
2018年10月31日開催 留学生歓迎会&ハロウィン  
2018年12月19日開催 中国・韓国留学体験談  
2019年 1月23日開催 餅つき  
2019年 1月30日開催 インターナショナルコンサート

### 4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全7回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を行う。

3 参加者の様子

平成30年12月12日（水）、ホテルロイヤルKITAMIにおいて、毎年恒例となっている留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催しました。

日ごろから本学の国際交流にご協力いただいている学内外からの方々にご参加いただき、交流を深めました。

はじめに鈴木学長からの挨拶があり、引き続き卒業生の代表として、韓国人留学生のJEONG CHANYANG（チョン チャンヤン）さんから、留学生活での楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉などのスピーチがありました。



交流会では、卒業・修了する留学生のスライドの上映が行われました。各自が作成したスライドに合わせて、入学した頃に比べてはるかに流暢になった日本語で、北見での思い出を語ってくれました。

更にアトラクションでは、中国人留学生による歌唱や韓国人留学生によるギター演奏、そして最後に様々な国の民族衣装によるファッションショーが行われ、会場を大いに盛り上げてくれました。



夕べに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。



#### 4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、会場の借り上げを行い、食事を用意させていただきました。また、各関係者への案内状や、当日配付しました冊子と集合写真の作成にも役立てさせていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



1 実施事業名

就職支援助成（地元企業合同セミナー）

2 事業の概要

人材確保が課題となっているオホーツク地域の企業と、本学学生や地元専門学校生等の出逢いの場を提供し、人材を確保するとともに地域経済の活性化を目指す。

3 参加者の様子

○オホーツク地元企業と就職担当教員との意見交換会

平成31年1月17日（木） 本学多目的講義室等

本学、北見商工会議所、北見市大卒者情報センター、KITげんき会との共催で、オホーツク地元企業と本学就職担当教員との意見交換会を開催し、就職担当教員12人、オホーツク管内の企業24社（24人）が参加しました。

山田副学長、鞘師特任教授から本学の就職支援に関する取り組みや地域への就職に関することについて説明の後4グループに分かれ、就職に関する学生のニーズやオホーツク地域での就職に対する課題等について意見交換が行われました。

オホーツク管内での就職に関して企業側からは「学生の動向がよくわかった」「インターンシップの重要性を知ることができた」「何か実績ができるように体制作りを色々と考えていきたい」と今後の課題が明らかになるなど、有意義な意見交換会となりました。



#### ○オホーツク合同企業セミナー

平成31年2月21日（木） 本学第二体育館

本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そしてKITげんき会との共催で、オホーツク合同企業セミナーを開催しました。オホーツクの企業・団体が一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄るブース形式で実施し、北見市を含む近隣6市町から46社（団体）、2020年3月卒業・修了予定の本学学生や専門学校生ら約60名が参加しました。

学生からは、「様々な業種の話を知ることが出来て良かった」「普段企業から聞けないような話を聞くことができたので、とてもためになった」「自分の視野、考えが広がりとてもいい経験になった」といった声がありました。

#### 4 謝辞

オホーツク地元企業と就職担当教員との意見交換会及びオホーツク合同企業セミナーを共催で開催していただき、心から感謝申し上げます。皆様からの御協力により、学生と地元企業との出逢いの場、また地元企業と教員との情報交換会の場を提供することができました。

これらの事業を推進することにより、本学とオホーツク管内企業との相互理解及び今後のオホーツク地域の人材創出に繋げていければと思っておりますので、今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 平成30年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

### 1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

### 2 事業の概要

図書館に配架している参考図書で新版が出版されたものや、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し、購入した。

### 3 購入図書一覧

別紙のとおり

### 4 謝辞

この度は皆様からのご厚志により、学生向けの参考図書の充実を図ることができました。今回購入した洋書や辞典等を本学図書館に配架することで、本学の教育や学生の学習支援に役立たせることができます。この場をお借りして感謝を申し上げます。

北見工業大学では学生のみならず、地域住民の方にも快適に図書館をご利用いただけるよう努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域の皆様に必要とされる図書館となるよう努力してまいりますので、今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。

平成30年度購入 参考図書一覧

書 名	金額(税込)
日本都市史・建築史事典	19,872
ビジュアル科学大事典	9,539
最新 心理学事典	21,859
電気化学便覧 (第6版)	27,821
食品添加物インデックスPLUS - 和名・英名・E No. 検索便覧 (第3版)	11,923
実務者のための化学物質等法規制便覧 2018年版	11,923
ゴムハンドブック (2018)	8,942
宝石と鉱物の大図鑑 - 地球が生んだ自然の宝物	8,744
ビッグヒストリー大図鑑 - 宇宙と人類138億年の物語	8,744
世界《宇宙誌》大図鑑	7,949
知っておきたい 日本の火山図鑑	4,769
日本の海水魚と海岸動物図鑑1719種	2,434
薄片でよくわかる岩石図鑑	2,434
化石観察入門	2,434
世界の砂図鑑	2,435
電気設備用語辞典	4,670
切削・研削・研磨用語辞典	6,955
留学生のための理科系専門用語辞典 数学・物理・化学・生物—日本語 - 英語 - アラビア語 (改訂増補版)	6,657
危険物取扱者のための危険物まるわかり辞典	2,087
数える・はかる・単位の事典	3,180
食品添加物の使用基準便覧 第46版	1,987
日本史モノ事典	2,782
世界史モノ事典	2,782
自動車用語辞典 (増補2訂)	1,987
日本の天気と気象図鑑 - ひまわり8号と地上写真からひと目でわかる	1,590
岩石薄片図鑑 - 精細写真で読み解く鉱物組成と生い立ち	2,385
骨の事典	9,936
ポケット版要点整理 電験三種論説トレーニング	1,192
合 計	200,012

(12円については情報図書課予算より支出)

## 平成30年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

### 1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

### 2 事業の概要

女満別空港2階出発ロビーへ広告看板の掲出

### 3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しています。平成29年3月に一新したデザインは、学部改組後の2学科のイメージとロゴマークが映えるようにと作成しました。



### 4 謝辞

本事業に関し、平成17年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

北見市恒例の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に学生及び教職員によるチームで参加し、本学の存在をアピールするとともに、地域の活性化に貢献しました。

3 参加者の様子



鈴木学長を団体長とする北見工大チーム

4 謝辞

本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

これからも地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成30年度決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	2,200,000	1,965,000 円	個人会員(29件) 135,000 円 法人会員(109件) 1,830,000
寄 附 金 等	1,000,000	875,000 円	同窓会会員からの寄附(154件) 875,000
雑 収 入	500	2,582 円 (内訳) 22 2,560	預金利息 残高証明書手数料発行手数料の振替
前年度からの繰越	3,123,242	3,123,242 円	
合 計	6,323,742	5,965,824 円	

支出の部

項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	270,000	276,662 円	
通 信 費	(内訳) 150,000	(内訳) 133,814	印刷物郵送送料 133,814 ・総会開催通知発送料:38,950円 ・会費納入依頼発送料:38,212円 ・ニュースレター発送料:37,556円  返信用葉書:19,096円
事 務 費	20,000	29,448	事務諸雑費 29,448 ・残高証明書発行手数料の合計:2,560円  振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料の合計:4,356円 ・会費納入に係る振込手数料の合計:22,532円
印 刷 費	100,000	113,400	・KITげんき会リーフレット印刷費:86,400円 ・KITげんき会ニュースレター印刷費:27,000円
大学援助費	3,816,000	3,152,169 円	
学生に対する支援	(内訳) 3,012,000	(内訳) 2,350,269	語学研修プログラム参加旅費の助成 470,000  30,000円×4人=120,000円(台湾) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ)  競技用ランポリン購入の助成 1,000,000 留学生派遣の助成 38,190 インターナショナルCアワー開催の助成 102,079 留学生交流イベントの助成 240,000 就職支援助成(地元企業合同セミナー) 300,000 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 200,000
大学広報等への支援	616,000	615,600	女満別空港広告看板掲出料の助成 615,600
北見ぼんちまつり 参加への支援	188,000	186,300	北見ぼんちまつり参加者への助成 186,300
予 備 費	2,237,742	0 円	
支 出 計		3,428,831 円	
次年度繰越金		2,536,993 円	
合 計	6,323,742	5,965,824 円	

## 監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、平成30年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

令和元年7月8日

監 事

小澤

實之郎



監 事

富田

剛夫





# 北見工業大学後援会「KITげんき会」

## 令和元年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	
<p>1) 学生に対する支援</p> <p>2) 大学広報等への支援</p> <p>3) 北見ぼんちまつり参加への支援</p>	<p>語学研修プログラム参加旅費の助成            ・中国×5人      ・台湾×5人            ・ドイツ×8人            (学生への支援の充実のため一人当たりの助成額を、ドイツ30,000円、台湾20,000円増額)</p> <p>短期交流研修(派遣)の助成            ・韓国×10人      (隔年実施)</p> <p>留学生派遣の助成            (地域の各種団体等への留学生の派遣)</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <p>留学生交流イベントの助成</p> <p>就職支援助成(地元企業合同セミナー)            (宣伝用チラシの製作費および参加企業増加に伴う会場設営費として200,000円増額)</p> <p>学生表彰            (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰)</p> <p>参考図書購入の助成            (学生向け図書館配架用)</p> <p>女満別空港広告看板掲出料の助成</p> <p>北見ぼんちまつり参加者への助成</p>
3 その他	KITげんき会会員銘板作成

**北見工業大学後援会「KITげんき会」**  
**令和元年度予算書(案)**

**収入の部**

項 目	予 算	備 考
会 費	1,935,000 円	個人会員(45口 × 3,000円) 135,000 円 法人会員(180口 × 10,000円) 1,800,000
寄 附 金 等	880,000 円	同窓会会員からの寄附(880口 × 1,000円) 880,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	2,536,993 円	
合 計	5,352,493 円	

**支出の部**

項 目	予 算	備 考
後援会運営費	340,000 円	
通 信 費	(内訳) 160,000	印刷物郵送料、返信用葉書 ほか 160,000 ・総会開催通知発送料: 40,000円 ・会費納入依頼発送料: 60,000円 ・ニュースレター発送料: 40,000円 ・返信用葉書: 20,000円
事 務 費	30,000	事務諸雑費、振込手数料 ほか 30,000
印 刷 費	150,000	KITげんき会リーフレット印刷 ほか 150,000 ・KITげんき会リーフレット印刷費: 90,000円 ・KITげんき会ニュースレター印刷費: 60,000円
大 学 援 助 費	3,477,000 円	
学生に対する支援	(内訳) 1,040,000	語学研修プログラム参加旅費の助成 1,040,000 30,000円 × 5人 = 150,000円(中国) 50,000円 × 5人 = 250,000円(台湾) 80,000円 × 8人 = 640,000円(ドイツ)
	500,000	短期交流研修(派遣)の助成 500,000 50,000円 × 10人 = 500,000円
	50,000	留学生派遣の助成 50,000 (地域の各種団体等への留学生の派遣)
	120,000	インターナショナルCアワー開催の助成 120,000
	240,000	留学生交流イベントの助成 240,000
	500,000	就職支援助成(地元企業合同セミナー) 500,000
	31,000	学生表彰 31,000 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰)
	200,000	参考図書購入の助成 200,000 (学生向け図書館配架用)
大学広報等への支援	616,000	女満別空港広告看板掲出料の助成 616,000
北見ぼんちまつり参加への支援	180,000	北見ぼんちまつり参加者への助成 180,000
予 備 費	1,535,493 円	※予備費からKITげんき会会員銘板費用として250,000円(見込)を支出
合 計	5,352,493 円	

## 北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
  - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。

# 平成30年度KITげんき会 法人会員名簿

(50音順 敬称略)

赤坂木材株式会社
有限会社旭防電
網走信用金庫
網走地区保育協議会
天内工業株式会社
株式会社天内工務店
五十嵐建設株式会社
池田暖房工業株式会社美幌営業所
株式会社イズム・グリーン
イト電商事株式会社北見支店
NHK北見放送局
遠軽信用金庫北見支店
株式会社遠藤
大槻理化学株式会社
尾形電気株式会社
岡村建設株式会社
岡本建設株式会社
オホーツク技術士会
株式会社オホーツク大地
オホーツク農業共済組合
オホーツクビール株式会社
株式会社海田鋼材
株式会社菅野組
一般社団法人北見医師会
北見観光開発株式会社北見ピアソンホテル
北見観光協会
北見管工事事業協同組合
北見金融協会
北見建設業協会
北見工業団地会
北見市役所部課長会
北見商工会議所
北見信用金庫
北見石油販売株式会社
北見測量設計協会
北見通運株式会社
北見地方生コンクリート協同組合

北見鉄工協同組合
北見土木技術協会
株式会社北見ハッカ通商
北見舗装協会
金星北見ハイヤー株式会社
桑原電装株式会社
桑原電工株式会社
小西工業株式会社
小林株式会社
有限会社小林寿司の小林
株式会社小林印刷
株式会社小柳中央堂
株式会社斉藤商店
株式会社坂口精肉店
佐藤電気株式会社
サン技術コンサルタント株式会社
株式会社システムサプライ
株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア
財団法人消防試験研究センター北海道支部
株式会社ダイイチ
大幸建設株式会社
株式会社ダイナウエスト
株式会社竹口組
谷口電工株式会社
株式会社田巻美石園
株式会社つうけん北見支店
有限会社ティーエム商事
株式会社テラス
株式会社電建北見本社電設部
東邦コンサルタント株式会社
東宝ビル株式会社
株式会社時枝工業
株式会社ドボク管理
株式会社中神土木設計事務所
永田製飴株式会社
株式会社中村商会
株式会社成中クリーニング

社団法人日本自動車販売協会連合会北見支部
株式会社長谷川建材
株式会社林鉄工
東北海道いすゞ自動車株式会社北見支店
光化成株式会社
株式会社福地工業
有限会社フジサワ
株式会社舟山組
株式会社北辰工業
北辰土建株式会社
医療法人北星会 大内医院
北成建設株式会社
北東電気株式会社
株式会社北洋銀行北見中央支店
北洋建設株式会社
北海電建株式会社
北海道ガス株式会社北見支店
北海道北見バス株式会社
北海道銀行北見支店
北海道獣医師会オホーツク支部
北海道新聞北見支社
北海道中小企業家同友会オホーツク支部
北海道糖業株式会社北見製糖所
社団法人北海道溶接協会北見支部
株式会社ホテル黒部
益村測量設計株式会社
有限会社松原新聞販売店
株式会社マルモ
株式会社ミズノ硝子建材
水元建設株式会社
株式会社村井小泉建設工業
株式会社山腰測量設計事務所
株式会社山下金物店
株式会社山本工務店
株式会社吉崎工業所

※平成30年度に会費を納入いただいた法人様を掲載しております。